

# 密植栽培に適した寒玉キャベツ

(カネコ交配)  
キャベツ

さい  
彩

ほう  
宝

Cabbage, Saihou Hybrid



カネコ種苗株式会社  
TEL. 027(251)1611(代)

# 密植栽培に適した寒玉キャベツ

(カネコ交配)  
キャベツ

さい  
彩

ほう  
宝

Cabbage, Saihou Hybrid

## ●特性●

- (1)定植後約75日で収穫可能です。播種期の目安は、冷涼地で4月中旬～6月中旬、中間地・暖地では1～2月です。冷涼地の8～9月収穫を中心に、中間地・暖地の6月収穫に向きます。また、中間地・暖地の11月収穫も玉の形状が扁平になりますが可能です。
- (2)玉はブルームがあり、光沢の強い濃緑色の扁円形で、球尻まで緑色となります。また、1.3kg程度にそろうために青果出荷に向きます。1.5～1.8kg程度の青果～加工兼用の品種をお求めの場合は「みくに」「みねふく」キャベツがおすすめです。
- (3)外葉はコンパクトな半開帳性で生育そろいに優れます。玉そろいも良く、在圃性に優れるため一斉収穫に向きます。また、結球位置が低く倒伏が少ないため収穫作業が容易です。
- (4)萎黄病に抵抗性で、黒腐病に耐病性があります。また、パーティシリウム萎凋病に耐病性を持ちます。結球位置が低いので株腐病や菌核病に対して予防防除が必要です。

## ●栽培要点●

- (1)播種・育苗  
播種期・定植期をきちんと守ります。本葉が展開してからは苗床の風通しを良くして、しっかりした苗を育てるようにします。
- (2)肥培管理  
肥沃地～やや肥沃地の栽培に適します。畑の状

態に応じて加減しますが、目安として10aあたり窒素18～20kg、リン酸20～24kg、カリ18～20kgを基準に栽培します。多肥を好みますので、通常の栽培に比べて元肥を1割程度増やすと、初期生育が安定します。

### (3)栽植密度

10a当たり6,000～7,000株程度を定植する密植栽培に向く品種です。栽植密度は畝間50cm程度、株間30～35cm程度とします。10a当たり5,000～6,000株定植する通常の栽培には、草勢と玉の肥大が良い「みくに」「みねふく」キャベツをおすすめします。

### (4)防除

結球位置が低いので株腐病、菌核病に対しては発生前からの予防防除が重要になります。予防効果の高い薬剤を結球開始前から定期的に散布してください。また、黒腐病については、耐病性の高い品種ではありますが、予防防除を心掛け、台風や大雨の後には出来るだけ速やかに防除を行います。

### (5)収穫

結球開始までに極端な高温や乾燥が続き、外葉の展開が悪くなると、生育遅延になりやすい他、小玉や裂皮の発生が多くなります。その場合、追肥や葉面散布などを行い生育を促すようにしてください。また、寒さにより玉表面にアントシアニンが発生し紫色に変色しやすくなるため、本格的な降霜前に収穫を終えるようにしてください。

## ●栽培作型●

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				○	×	○	×	■		■		
中間地	○		×		○	×	■		○	×		■
暖地	○		×		○	×	■		○	×		■

○ 播種期 × 定植期 — 生育期 ■ 収穫期

カネコ種苗株式会社

〒371-8503 前橋市古市町1-50-12  
TEL. 027(251)1611(代)

一般社団法人  
日本種苗協会®  
登録番号 104001号

取扱店